

協働のまちづくり市民会議×熟議 2023 熟慮課題
「加古川市スマートシティ構想の実現に向けてみんなで考えよう」

今年度の熟議は、デジタル技術を活用した「誰もが豊かさを享受でき、幸せを実感するまち加古川」を実現する具体策を探る議論を深めます。

本日（6月17日）の熟慮講演会では「①幸せを実感できるまちをめざして～well-beingの向上を意識したスマートシティの取組～」 「②デジタル技術を活用したまちづくり」と題して、デジタル技術を活用した先進的事例を学びました。

熟慮講演会での学びを踏まえ、熟慮課題への取り組みをお願いいたします。

【方法】

以下の『テーマ』からあなたの関心のあるものを1～3つ、さらに『地域』を1つ選んでください。そして、フィールドワークなど（その地域を実際に訪れて、見たり、聞いたり、感じたりして、記録する。フィールドワークが出来ない場合はインターネットで調べてもかまいません。）を通して、デジタル技術を活用したどのような取り組みができるのか、を考えてください。

課題は、右の回答フォームに記述してください。 ⇒



『テーマ』3つ以内

- | | | |
|--------|-----------------|------------------------------|
| ・子育て支援 | ・交通、移動 | ・にぎわい、産業 |
| ・学び、教育 | ・防災、減災 | ・その他（ ） |
| ・高齢者支援 | ・安全、安心（防犯、交通安全） | |

『地域』1つのみ

- ・中山間地区（自然豊かな居住空間、レクリエーション拠点）
 - ・都心地区（高次的な都市機能やにぎわいの拠点）
 - ・副都心地区（文教施設が集積するゾーン、快適な居住空間）
- ※地域のイメージは裏面を参照ください。

【課題1】

あなたが関心のあるキーワードの視点で加古川市を見た際に、現在、どのような課題があると思いますか、400字以内で記述してください。記述にあたっては、箇条書きで複数の内容を挙げていただくことや、要点のまとめでも結構です。

（市民参加型合意形成プラットフォーム「Decidim」で「スマートシティ構想の実現状況」や、これまでの議論も参考にしてください。⇒）



【課題2】

【課題1】で記入した課題を解決し、誰もが幸せを感じるまち加古川にするためには、どうしたらいいと思いますか、ICTや最新技術などの活用もイメージして（具体的に何が必要か、また自分たちが市民として何ができるのか）、400字以内で記述をしてください。記述にあたっては、箇条書きで複数の内容を挙げていただくことや、要点のまとめでも結構です。

【備考】

- ① 上記、課題1と課題2の参考となる写真などがありましたら、回答フォームに添付してください。（3枚まで）
- ② ご提出いただいた課題は、匿名で各グループでのみ共有いただきます。
- ③ Decidimとは、オンライン上で意見やアイデアを寄せ、議論し、政策に結びつけるツールです。（詳細は裏面をご覧ください。）

※地域のイメージ（参考）



※Decidim の詳細

加古川市版 Decidim でまちをつくらう



Decidim（デシディム）は、市民などが意見やアイデアを寄せ、議論し、政策に結びつけていくためにスペイン・バルセロナで生まれたツールです。

加古川市はスマートシティを市民の皆さんと作るため、全国で初めて Decidim を導入しました。

ユーザ登録すれば誰でも参加できます。市民の皆さん、事業者の皆さん、行政でアイデアを出し合って、よりよいまちをつくりましょう。

① ユーザ登録



② 色んなテーマ（課題）に意見やアイデアを自由に投稿



③ 意見に基づき市が施策を検討

